

## 8 いじめのない社会へ —子どもの心の声が聞こえていますか—



ある朝のできごとです。  
いつもの時間になっても、たろうくんは起きてきません。  
何回も声をかけるのですが、起きてくる気配がありません。  
時間はもう遅刻ぎりぎりです。このままでは、自分も仕事に遅れて  
しまいそうな母（父）は、急いでたろうくんのところへ行き・・・



親①

いつまで寝ているの、早く起きなさい。もう遅刻するわよ。

学校なんてもう行きたくない。

ぼくは今日、学校を休むよ。



たろう



親②

参考：ほんの森出版刊 保護者会で使えるエンカウンター・エクササイズ (P68)

親②のせりふが書けたら、グループで1～3に取り組んでみましょう。

- 1 役割を決めて、たろうくん役と親役を演じてみましょう。  
・会話は、自分の書いたものを発表するだけでなく、回し読みするなど工夫してもOKです。親①の言葉も自分の言葉にかえてみてください。
- 2 親②の言葉中心に会話を聴き合しましょう。  
・聴くときには、できるだけたろうくんの立場になり、自分がたろうくんだったら、次にどう言うだろうと考えながら聴きましょう。
- 3 全員の発表が終わったら、感想や意見を出し合しましょう。  
・親②のせりふはいろんなものがあつたと思いますが、否定するのではなく共感し合うことを基本に、気楽に意見を交流しましょう。

子どもと心を通い合わせる会話って？

- 1 親子でじっくりと会話を交わしていますか。日頃、子どもとの会話でどのようなことを気をつけていますか。

---

---

---

---

---

---

---

---

- 2 話し合いの中で気づいたこと、参考になったことを書きましょう。

### POINT

子どもは、「親には自分のことを全て理解してもらいたい。」という思いも、「親にはちょっと言いづらい。」という思いも持っています。また、親子の間では、身近な存在であるだけに、話し合うことが難しいこともあります。しかし、家庭は子どもにとって社会性を身につける第1の場所でもあります。日ごろから、コミュニケーションを大切にしていきましょう。自分のことに悩むようになればもう1人前と言えるのではないでしょうか。子どもの人格を尊重して、その思いをしっかり受け止めることで心の通う会話が生まれてくるはずです。